日本共産党

4月9日川崎市議選

宮前区の市会は

あなたの一票を

石川けんじ

これまで、「中学校給食の実現」や「小児医療費助成制度の拡充」など、地域の皆さんと一緒に運動してきました。しかし、日本共産党以外「オール与党」の議会では、市民の声が届き難くなっています。3月議会では、「学校給食の無料化を求める請願」が不採択（日本共産党は採択）。鷺沼再開発でも「現在の市民館・図書館・区役所残してほしい」「タワーマンション計画は見直しを」の声は届いていません。困難な課題でも、地域の皆さんと一緒に取り組み、市民の声が届く議会を、市政を作ります。

いしかわ 建二

プロフィール

1957年横浜市生まれ。県立港北高校卒業。和光大学人文学部に学ぶ。和光学園生協理事、劇団「東演」で俳優、舞台監督として働く。現在市議６期、川崎港港湾審議会委員、環境委員会委員。

市民館・図書館・区役所は存続し、鷺沼駅前に分館・支所の整備を

公式LINE

石川けんじ 検索

HP http://ishikawa-kenji.jp/

証紙

頒布責任者／藤田　宏　宮前区土橋 4-4-4　グランシティー鷺沼 103　印刷者／㈱神奈川機関紙印刷所　横浜市金沢区福浦 2－1－12

石川けんじは市政を前に動かします!!

共産党の11議席で
市民の願い 実現しました

子育て・福祉・優先の市政へ

- 18歳まで医療費無料に
  全国では約半数の自治体がすでに実施
- 学校給食費を無料に
  東京23区の1/2が実施予定

- 給付型大学奨学金の創設
- 高すぎる国保料の引き下げ
  こどもの均等割なくし、1世帯年額1万円減額
- 特養ホームの待機者ゼロ、介護保険料の減額を
- 高齢者の補聴器費用の助成制度創設

- 市営住宅の増設、若者に家賃補助制度を
  当面、月1万円補助
- 中小企業に市独自の直接支援を
- 水害、地震対策の推進
- 地球温暖化対策、脱炭素化を推進し、経済・雇用活性化を

こどもの医療費
中学卒業まで拡充が実現！

2022年9月議会で、市長が拡充を約束。これまで40万筆以上の市民団体の署名が寄せられ、市議団が議会で述べ115回の質問を続けた成果です。9月から実施の予定ですが、1回500円の一部負担金は、そのままです。川崎市で18歳まで一部負担金を撤廃して医療費無料にするよう、さらに拡充をめざします。

- 産後ケア事業の拡充
- 認可保育園の増設
- 学校に事務支援員・障害者就業員の配置が実現
- 学校トイレの快適化が全校終了 など

市民の命、暮らしを守る

- 新型コロナ対策の要望書を第15次（2020年から2022年）まで市長に提出
- 学校の各教室にCO_2モニター設置が実現
- 発熱外来が全行政区の休日急患診療所に拡大
- 台風19号（2019年）の被災者支援策30万円給付など実現
- 駅のホームドア設置実現、開かずの踏切対策 など

財源はあります

市税収入は2年連続過去最大
財政力は政令市トップ

- 市のためこみ金（減債基金）2,529億円（2021年度末）
- 臨港道路1,475億円など不要不急の大規模事業の見直し

市民の願いに対する各党の態度は…

他党とここが違う！

川崎市議会で、国の意見書、請願への主要会派の態度

2020年度以降の定例議会から抜粋（○賛成 ×反対）	共産	自民	公明	みらい	無所属
選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書（2020年12月）	○	×	×	×	2名○
核兵器禁止条約の署名を求める意見書（2021年3月）	○	×	×	×	1名○
高齢者の医療費窓口2割負担廃止を求める意見書（2021年10月）	○	×	×	×	×
インボイス制度の実施中止を求める意見書（2022年3月）	○	×	×	×	×
川崎市独自の少人数学級推進を求める請願（2022年3月）	○	×	×	×	×
小児医療費助成制度の拡充を求める請願（2023年3月）	○	×	×	×	1名○
学校給食費の無料化を求める請願（2023年3月）	○	×	×	×	1名○

2022年12月議会では**「旧統一教会による被害の救済・防止及び政治との癒着の一掃を求める国への意見書」**を提案しましたが、他会派はすべて反対

共産党	自民党	公明党	みらい	無所属全員
○	×	×	×	×

大軍拡ノー

いま必要なのは対話の外交です

→敵基地攻撃とは全面戦争への道
→憲法9条を守り 平和なアジアへ

日本共産党の 石川けんじ 候補へ一票をお寄せ下さい